清瀬市男女共同参画センター

アイレック 市民と紡ぐ30周年

アイレックまつり実行委員会の皆さん

多様な人が学び、交流し、相談できる場として誕生したアイレック。30周年を迎えた今も、ジェンダー平等の実現に向けた取り組みを広げ続けています。その歩みと拠点の魅力をご紹介します。

認めあい、支えあう社会へ ひらかれた男女共同参画

清瀬市男女共同参画センターは、清瀬駅北口ロータリーに面した市民協働プラザの4階にあります。開設は女性の社会参加が注目されはじめた30年前。北口再開発にあたり、「女性センター機能を持たせた施設の建設を」という市民の声に応える形で誕生しました。

開設に向けた流れから現在に至るまで、市民参画はアイレックの特徴となっています。運営委員会の委員をはじめ、講座を企画・実施するイベントチーム、図書コーナーの蔵書の整理を担う図書チームなどアイレックを支えるサポーターと呼ばれるみなさんが活動しています。

年2回全戸配布で発行するきよせジェンダー平等広報「Ms.スクエア」は、毎年編集委員を募集し、市民の目線で編集を行っています。2024年度からは、最新の情報をより早く発信するためにnoteを活用したオンライン発信「スクエア+(プラス)」も始まりました。紙とデジタルの両面から発信することで、幅広い世代へ届きやすくなったのも大きな変化です。

公募で決まった愛称の「アイレック(LEC)」は、「情報」「学習」「交流」「相談」の英語の頭文字。アイレックで開催される講座は、女性の人権、男性の育休、性の多様性、包括的性教育など、さまざまな学習テーマが並びます。講座の後には感想を語り合う時間もあり、学びが新たな交流へとつながっています。また、「女性の悩み」「しごと」「法律」の相談を設け、それぞれ専門家である相談員が相談者の声に耳を傾けています。保育室もありますので、講座、相談の際は、未就学児の保育をお受けすることができ、子育て中の方も安心して参加できます。

開設から今日まで、ひとつのキャッチコピーが変わらず受け継がれています。それは「手を組めば新しい風～ともに認め合うこと、ともに支えあうこと～」。

市民と市が手を取り合って誕生したアイレック。その取り組みは、未来へと続いて行きます。

清瀬市男女共同参画センター
042-495-7002
清瀬市元町1-2-11
市民協働プラザ(アミュー)4F
9:00 - 22:00／月曜、年末年始休館

アイレックと清瀬市の男女平等施策のあゆみ

1991年
清瀬市が市民編集委員を公募し、女性広報「Ms.スクエア」創刊

1994年
清瀬駅北口再開発ビルに女性センター開設を求める陳情が議会で採択

1995年
清瀬市男女共同参画センターが開館

1996年
第1回アイレックまつり開催

2006年
「清瀬市男女平等推進条例」制定

2014年
小学5年生の児童全員に男女平等推進条例 子どものためのガイドブック配布。以後毎年配布

2021年
女性の働きを応援するコワーキングスペースことりば運営開始／女性に対する暴力をなくす運動の一環として清瀬駅北口でパープルキャンドル開始／LGBTQ当事者交流会カフェきよにじ開始

2022年
「Ms.スクエア」創刊100号記念号発行／困難を抱えた女性に生理用品を配布

2023年
女性のデジタル分野就職のための人材育成講座開始 ／女性起業家等を応援することりばビジネスコンテスト実施

2024年
SNSでジェンダー平等を発信するスクエア+開始

アイレックまつり
実行委員会が案内!

7つの視点 男女共同参画

アイレックの取り組みを合言葉のように7つへ凝縮。
ジェンダー平等を暮らしに近づける、
今日からの小さなヒント集です。

1 学ぶ

アイレックの講座は、ジェンダー平等を分かりやすく学べる場です。「女性の人権」「男性の育休」「性の多様性」「包括的性教育」などテーマは幅広く、身近な暮らしに関わる話題も多いです。難しい言葉だけではなく、参加者の経験談やディスカッションを交えて学べるのも特徴。「知る」ことが、日常の小さな気づきや行動の変化につながっていきます。

2 相談する

悩みや困りごとは誰にでもあるもの。「女性の悩み相談」、再就職、起業など働きに関する「しごと相談」、弁護士による「法律相談」。相談員はその分野の専門家の女性です。相談する方の気持ちを受け止め、一緒に解決の糸口を探します。相談して自分がDVを受けていると気づく方もいらっしゃいます。秘密は厳守、安心して話せる相談室があることは心の支えとなります。

3 交流する

アイレックは学びの場であると同時に、人と人とがつながる交流の拠点。運営委員会や講座のチーム、図書チームなど、アイレックを支える「サポーター」が活発に活動しています。ここで出会った仲間と新しい企画を立ち上げたり、気軽に雑談を楽しんだり。世代や立場を超えたつながりが自然と生まれていくのが、アイレックならではの魅力です。

4 伝える

市民の声を発信する取り組みも大切にしています。年2回発行している「きよせジェンダー平等広報『Ms.スクエア』」は、市民編集委員がつくる手づくりの広報誌。日常に根ざした記事が多く、読んで「なるほど」と思える内容です。さらに2024年度からは「スクエア+」によるオンライン発信もスタート。より多くの人に情報を届けられるようになりました。

5 参画する

アイレックは「利用する場」から一歩進んで「一緒につくる場」でもあります。サポーターは講座の企画・運営に、市民編集委員はジェンダー平等の啓発に関わっています。また、センター運営委員会は、公募市民、アイレックを活動の拠点としている登録団体、サポーターが委員となり、会議室の運営、各種事業実施などに意見を反映しています。

6 育てる

ジェンダー平等は、大人だけのテーマではありません。アイレックでは子どもや若い世代に向けた取り組みにも力を入れています。例えば、「清瀬市男女平等推進条例 子どものためのガイドブック」など。子ども時代から自分も他人も大切にする考え方にふれることは、とても大切な経験。未来に向けて意識を育むことも、アイレックの役割です。

7 支え合う

アイレックの合言葉は「手を組めば新しい風～ともに認めあうこと、ともに支えあうこと～」。設立当初から変わらず掲げられてきたフレーズです。男女共同参画は一人ひとりの問題でありながら、みんなで支えあうからこそ前に進めるもの。市民と行政が協力して築いてきたこの拠点は、地域にとっての安心の場所であり続けています。

INTERVIEW

アイレックまつり実行委員長

—今回のアイレックまつりの見どころは?

実行委員長 今年は30周年の特別なイベントです。対談「フェミニズムのこれから」では、漫画家の瀧波ユカリさんとライターの武田砂鉄さんをお迎えします。"フェミニズム"というと、「自分には関係ない」とか「女性の運動」と思われがちですが、実は誰もの生活とつながっているものです。日々感じる"小さな痛み"を取るに足りないと無視するのではなく、言葉にして共有することで、社会の変化は始まっていくと思います。多様な世代の皆さんにご参加いただきたいですね。

昨年も好評だった子ども向けワークショップは、今年はココロイキプロジェクトさんにご協力いただきます。ほかにも、「ビリーブ 未来への大逆転」映画上映会、市民から寄せられた品々を販売するバザーなど、さまざまな企画があります。ぜひお気軽にお越しください!

10月11・12日開催!

アイレックまつり

アイレックが誕生して以来、毎年記念イベントとして市民の実行委員により実施。市民が男女共同参画を学べる企画が満載です。

日時 2025年 10月11日(土)・12日(日)
場所 清瀬市男女共同参画センター
料金 無料(講演会・映画は予約制)
主催 アイレックまつり実行委員会